

災害対策本部員会議での知事的主要発言

1. 会議冒頭の発言

- 本日9時7分、奥能登地域に顕著な大雨に関する石川県気象情報が発表され、線状降水帯も発生、河川の氾濫、土砂災害等の被害が発生している。
- 10時50分には、石川県で初めて、輪島市、珠洲市、能登町に、大雨特別警報が発令された。
- 坂口輪島市長、大森能登町長、泉谷珠洲市長から、救出・救助に関して自衛隊の派遣要請があり、速やかに自衛隊に派遣要請を行った。

加えて、奥能登2市2町と志賀町に対し、災害救助法を適用した。

- 引き続き、人命救助を最優先に取り組むとともに、被害状況の把握に全力をあげて欲しい。
- 県民の皆さんは命を守る行動をお願いしたい。

2. 会議最後の発言

- 緊急事態という認識を持って対応すること。
- 奥能登地域全体では、大雨災害発生の危険性が非常に急激に高まっている。

- 人命救助を最優先に対応すること。
- 各市町、防災機関と連携して、県民の安全確保に万全を期すこと。
- 被害の発生を覚知した場合、速やかに危機対策課へ通報できるように、各部局における通報連絡体制を再確認すること。
- 県民の皆さんは、早めに避難行動をとるなど、命を守る行動をお願いしたい。
- 能登半島地震で応急復旧した場所を含め、危険な状況も想定されるので、そのことを踏まえた対応をお願いしたい。
- 次回の災害対策本部員会議の開催は、今後の状況を踏まえて連絡する。